

鬼	北上市立	館
だ	の	り
だ	よ	り
第10号		



### インターハイ主会場に鬼躍る

平成11年度の全国の高校生のスポーツの祭典、全国高等学校総合体育大会（インターハイ=Inter High school Athletic Meeting）の開会式が行われる北上市総合運動公園に、鬼の館ゆかりの作家の作品がすばらしいできばえの壁画となってお目見えしました。

栃久保操さんの鬼です。

栃久保さんの作品は、第8回企画展として展示、期間中行われた鬼万燈づくりは、講座の小学生や来館された方々に好評でした。栃久保さん自身も北上が大変に気に入り、最近、南部裂織をモチーフとした作品を発表されています。

新しい出会いが、またひとつ北上の地に結実したことをうれしく思っています。

# 北上市立鬼の館 平成11年度の催し



## ◎展示会

### 第10回企画展◆大鬼剣舞展

7月11日(日)～8月22日(日)

鬼剣舞は、大宝年間に役の行者により、念仏踊りとしてはじめられ、大同年間、羽黒山の修験者たちによって広められたとされる民俗芸能です。広くは念仏剣舞の一つですが、刀を持ち、厳めしい仮面をつけて勇壮に舞われるさまから、鬼剣舞と呼ばれるようになりました。本展では、代を譲る時に授けられるという「秘伝書」や海峡を渡った「白面」など、民俗芸能「鬼剣舞」のすべてを

ご覧いただきます。

この企画展に伴い、8月8日(日)は、つぎのような芸能の公演と講演会を予定しています。

芸能公演「剣舞競演」

午前9時30分から／鬼の館野外ステージ

講演会「民衆に根差した民俗芸能」

講師：門屋光昭 鬼の館館長

午後2時30分から／エントランスホール

### 第11回企画展◆鬼をつくる一和紙面師・澤藤範次郎の仕事一

10月10日(日・祝)～11月23日(火・祝)

北上市出身の和紙面師・澤藤範次郎さんの地元産和紙の特徴が存分に発揮された作品の数々をご鑑賞ください。「30年以上も鬼を作り続け、鬼とにらめっこをして勝ち続けた」という澤藤さん。目を入れられて初めて鬼面になった面たちを「ゆめ人を睨むな、邪悪を睨め」と諭すようににらみ付けて世に送り出しているそうです。(当館常設展示図録に収録のエッセイより)

期間中、張り子の手法による和紙面製作のワークショップや作家自身によるギャラリートークを予定しています。



六原張り子  
桃太郎鬼退治

### 市民製作仮面展

5月25日(火)～6月30日(水)

趣味で仮面制作に取り組んでいる方々の作品をご紹介します。木彫面や陶製の面が中心となります。

### 収蔵資料展

9月1日(水)～9月30日(木)

平成12年3月12日(日)～5月5日(金・祝)

コレクション資料や新たに収集した資料を中心に展示します。

### 市民の宝物展

12月12日(日)～平成12年2月27日(日)

愛蔵の品々を鬼の館で皆さんに公開しませんか？鬼の館をもっと身近に、活用いただくための初めての試みです。ふるってご出品ください。

詳しい応募規定などは広報北上紙上にてお知らせします。

### 第6回

### 大乘神楽大会

6月13日(日)10時開演

鬼の館特設会場

市内22の大乘神楽保存会による年に一度の公演。ゲストに早池峰大償神楽をお招きする予定です。



◎学級・講座

鬼っこわんぱく講座

全10講座 鬼瓦や鬼凧作り・鬼剣舞体験  
5月5日は子どもの日わくわくイベントとして参加自由。ほかは、申し込み制です。



昨年度のように

鬼学講座

全10講座 鬼の源流を求めてをテーマに毎年開校している成人向けの講座です。移動研修有。申し込み制です。



昨年度の移動研修(青森県)

鬼の館芸能公演

4月から11月・3月の第4日曜日・連休公演(5/2)・お盆公演(8/15)

【出演団体】相去・岩崎・御免町・口内・谷地・滑田・二子・飯豊・鬼柳の各鬼剣舞保存会・江刺市金津流鶴羽衣鹿踊(お盆公演)

5~7演目の見応えある内容。くわしい解説付きです。



滑田鬼剣舞

平成11年度 催しものカレンダー

展示	講座 ☆鬼っこわんぱく講座 ★鬼学講座	芸能公演	休館日
平成11年度 収蔵資料展		◇鬼剣舞公演	5 12 19 26
	☆5 子どもの日わくわくイベント	◇25 ◇2	6 7 10 11 12 17 24 31
市民製作 仮面展	★20 民間信仰と祖霊神	◆13 大乗神楽大会 ◇27	7 14 21 28
			5 12 19 21 26
大鬼剣舞展	☆27~29 合宿	★18 織治神 ★31 鬼瓦 ◇25	2 9 16 23 30
	☆21~22 鬼瓦 ☆19 張り子面	★29 金工と鬼 ★12 東南アジアの仮面 ◇26	6 13 16 20 24 27
鬼を作る	☆17 鬼剣舞	★3 宗教に潜む鬼 ★21~22 移動研修 ◇24	4 12 13 18 25
	一和紙面師・澤藤 範次郎の仕事一 ☆14 鬼剣舞	★23 岩手の毘沙門信仰 ◇21	1 4 8 15 22 24 27~30
市民の 宝物展	☆23 鬼剣舞 ☆30 鬼剣舞	★9 正月行事にかかわる鬼 ◇26	6 13 20 24 27~31
	☆未定	★13 シンポジウム	7 14 15 21 28
収蔵資料展 平成12年5月5日まで			6 13 20 22 27

\*日程は変更することがありますので、お出かけ前に確認されることをおすすめいたします。

新資料から

# 三河郷土玩具 鬼祭り面

製作：豊田里美（愛知県花田町・故人）

寄贈：栃久保 操 氏（豊橋市）



愛知県は、郷土玩具の大変に豊富なところですが、陶磁器や屋根瓦の産地だけあって、土人形がたくさんつくられましたし、名古屋市内では社寺の授与品として絵馬や護符、土鈴、ご城下の祭りを題材にした山車、簡単な仕組みでも楽しいからくり玩具、練りものや張り子の天神にも人気が集まっています。

ここにご紹介するのは、豊橋市の安久美神明社で毎年2月に行われている鬼祭りに登場する赤鬼、黒鬼、天狗の張り子面です。武人と荒ぶる神を表現する赤鬼との戦が繰り広げられる神事は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

型取りのおおらかさと勢いのある描彩が、魅力です。

三河地方では、この鬼祭りが済んで、いよいよ春の訪れを感じるのだそうです。

この資料は、平成10年度収蔵資料展(3/20~5/5)にて展示します。また、安久美神明社の鬼祭りは、ビデオコーナーにて一部をご覧いただけます。

## 平成10年度 収蔵資料展

平成11年5月5日まで  
企画展示室にて

◎約53点

## 平成10年度 受入資料

### ○寄贈

張り子鬼 5点（陸前高田市・高橋誠一氏）・山の神・六原張り子「桃太郎鬼退治」（金ヶ崎町・千葉淳子氏）・鬼首 2点・鬼面玩具 2点（北上市・佐藤雅紀氏）・かまど神（北上市・大木トシ子氏）・鬼曼荼羅「鳳來」・三河玩具・鬼 3点（愛知県・栃久保操氏）・春日部張り子・鬼（北上市・石川貴洋氏）・ランダ飾り面・中国京劇面（盛岡市・八重樫光行氏）・黒塚人形（胆沢町・鈴木明美氏）・京劇面ミニチュア（北上市・井上光子氏）

### ○購入

錦絵「東海道五十三対 草津」・「四天王大江山入之図」・「大江山鬼賊住家図」・「龍穴の日待」・「古猫の怪」  
はらいたくすりの看板  
六原張りこ和紙人形、和紙面 5点  
○寄託  
武者絵他 1点（北上市・針生泰彦氏）

ありがとうございました。

NEWS

山折哲雄さんをお招きして講演会「死と再生の文化」

第9回企画展「冥界一描かれた地獄・極楽」の開催に合わせて、10月18日宗教学者の山折哲雄さんをお招きし、「死と再生の文化」をテーマにした講演会が開催されました。

山折さんは、平成10年4月に新設された白鳳女子短期大学の学長を努められ、自ら奈良学の講義に立たれるなど、広い視野で日本人の宗教意識や精神構造をとらえる宗教学者としてよく知られています。この日はホールいっぱいに用意した120席がすべて満席となる盛況でした。



第5回全国鬼サミット 高松で開催

全国の「鬼」に関わりをもつ自治体や団体が一同に会して、地域の文化・物産・郷土芸能などのあらゆる面を通して交流を深め合い、個性ある町づくりをすすめるための情報交換の場、全国鬼サミットが10月31日高松市に新設なった「鬼ヶ島おにの館」を会場として開かれました。

会場は、高松港から船で20分の女木島めぎしまにあり、サミットメンバーは、皇帝船（中国の木造船）に乗船、オオテと呼ばれる石垣に展示されたたくさんの鬼の絵と小学生による鬼太鼓に迎えられて会場入りしました。

サミットでは、「鬼からのメッセージ」として、いかに情報発信を行っていくのかが話し合わせ、北上市は当館副館長の佐藤雅紀より、みちのく芸能まつり、鬼剣舞、鬼ZZフェスティバルのほかCD-ROM鬼百科についての情報発信を行いました。女木島は、鬼の大將が住んでいたという岩穴などもあり、参加者は、瀬戸内ファンタジーを楽しみました。

次回のサミットは、三重県上野市にて開催されます。



できごと Oni Museum

～新聞の見出しより～

H10. 下半年

- 鬼剣舞を中心に 鬼の館芸能公演  
[岩手日日10/9/27]
- 冥界テーマに企画展 県内もの中心に40点展示 [岩手日日10/10/6]
- 「鬼百科」の制作が大詰め 北上オフィスプラザ “鬼情報”を全国に発信 [岩手日日10/10/8]
- 冥界に対する人間の意識を語る 山折哲雄氏が講演 [岩手日日10/10/20]
- 企画展「冥界一」の展示解説図録を発売 十王座像など貴重な資料紹介 [岩手日日10/11/17]
- 鬼の面も個性的に 花巻養護北上分教室 色付け作業に挑戦 [岩手日日10/11/18]
- CD-ROM「鬼百科」が完成 北上オフィスプラザ インターネットで全国にも発信 [岩手日日10/11/29]
- 鬼剣舞の練習を開始 鬼っこわんぱく講座 伝統受け継ぎ精進 [岩手日日10/11/30]
- 鬼の館で特別展「世界の鬼たち」 世界約40カ国、90点余の仮面を展示 [岩手日日10/12/10]
- にっぽん鬼ZZフェスティバル開始 冬をにぎやかに [岩手日日11/1/30]
- 家々を訪問 鬼身近に 鬼ZZフェスティバル イベント楽しむ [岩手日日11/2/7]
- 着ぐるみデビュー 鬼ZZフェスティバル 「鬼の街」広くPR [岩手日日11/2/8]
- 四季の鬼・川柳大賞入賞者発表 鬼ZZフェスティバル 全国から1005編の応募 [岩手日日11/2/9]
- 鬼の創作活動楽しむ 「わんぱく講座」が閉講 鬼の館 [岩手日日11/2/17]
- 市民の手作り面を一堂に 来年度に特別展「市民製作仮面展」開催 鬼の館 [岩手日日11/3/4]
- 幽玄の舞 存分に堪能 和賀大乗神楽旧正月公演 6時間余り15演目 北上 [岩手日日11/3/9]
- 収蔵資料展開催 未公開資料を合わせ50点余りを一般公開 鬼の館 [岩手日日11/3/12]

## 鬼学ノート

## 掘り出された鬼

鈴木 明 美

## はじめに

鬼は、人間が生み出した精神的で抽象的な産物として、姿が見えず強大な力を持ち、恐ろしく怖いものとして私たちの脳裏の奥底にしまい込まれています。

大漢語林によれば“鬼”は、死者の魂、祖先の霊、幽魂、ひとがみ、人鬼、神として祀られた霊魂、鬼神などとし、さらに不思議な力があると信じられるもの、人に害を与えるもの、ものけ、化け物、地獄において亡者を扱うもの、餓鬼道におちた亡者、夜叉…云々と説明されています。これらが示す意味から“鬼”の姿を想像すると私たちが、これまで教わってきた姿とは多分に異なり、怖く恐ろしいものばかりではないような気がします。

“鬼”は6世紀頃に仏教や古代中国思想のような外来精神文化とともにもたらされ、縄文時代から、それまで脈々と受け継がれてきた日本固有の“靈魂”の精神思想と融合し、複雑に絡み合い浸透することとなります。

台風や雷、皆既日食や月食のような超自然現象、さらには疫病や流行病などに対処するための祭りとして執り行われてきた祖霊信仰の儀礼は、一部で形骸化されることとなり、死者の“怨霊”や邪悪なものなせることとして、忌み嫌うものとされ、仏教による諸仏の建立や加持祈禱の除霊に変化します。

これによって、これまで集落の中心に祀られ葬られていた死者の墓域は、生活空間から別の空間に形成されるよう変化し、現在の埋葬形態の型として受け継がれてきています。

一方、靈魂を主体とした日本固有の精神文化は、様相を変えながらも地域の風習や習俗などの民俗文化として、正月や小正月・盆行事などの年中行事のほか、民俗芸能、民話、祭りなどに反映され、さらに社寺仏閣で行われる追儺や仏教教理のひとつとしての地獄観に根強く残されて現在に継承されてきています。

これらからすると、日本文化に根差した“鬼”の姿は、人間に害を加える悪鬼のほか、人間を擁護する側の善鬼の存在も伺い知ることができます。

## 《掘り出された鬼たち》

鬼の精神文化が日本に伝播した以後、その時代の人々がどのように“鬼”を考えていたかを知る資料として数点の資料が、土の中から掘り出され、発見されています。

## 1 鉄地金銀象嵌獣面文円頭大刀 柄頭

香川県観音寺市の古墳から明治時代に出土したとされる円頭大刀です。これは大刀の柄頭(つかがしら)に鬼面を金銀で象嵌(ぞうがん)表現したもので、“鬼面象嵌柄頭”と呼ばれ、現在、保存処理を施され、瀬戸内海歴史民俗資料館で保存されています。

この柄頭は6世紀初頭に朝鮮の百濟あたりで作られたものが日本に渡来したものと考えられており、象嵌部分の獣面(鬼面)文は、中国に起源を求めることができ、悪霊から自己を防御する「辟邪」の意味があるとされます。この起源から推察すると柄頭の“鬼”は、持つ者を災いから防御する護身刀としての性格が考えられ、守護神としての善の鬼(鬼神)としてとらえることができます。

## 2 鬼瓦(おにがわら)

重要な建物の屋根部分の大棟や棟の端(はな)に祀られる鬼面(獣面文)を呈した瓦で、鬼板とも呼ばれます。獣面文の起源は、中国に求められますが、中国での鬼瓦は明確にされておらず、直接的に日本と結び付くものとして、新羅の鬼瓦の影響が大きいと考えられています。日本では、7世紀代に蓮華文で飾った鬼瓦が登場しますが、鬼面を表現したものとしては、8世紀以降とされ、角がある鬼面は10世紀から登場し、14世紀以降に広まったものとされています。日本最古の鬼瓦として、単弁8弁蓮華文を彫刻した法隆寺若草伽藍のものがあります。東北では多賀城跡(宮城県多賀城市)や胆沢城跡(岩手県水沢市)から発見されています。また平成10年(1998)には、国見山廃寺跡(岩手県北上市)調査によって、縦寸37cm、横寸40cm、厚さ5cmの鬼瓦(10世紀代)が発見されました。

これらは、悪霊や邪悪な魔物から建物を防御し、安穩を祈って取り付け祀られたもので、中国の精神思想が反映されたものと解釈されます。この意味からも鬼瓦の鬼は、守護する側の鬼、つまりと

ころ善の鬼で鬼神としての役割をもった鬼と解釈することができます。

### 3 墨書土器 (ぼくしよどき)

器表面に墨で文字や絵が書かれた土器のことをいいます。“鬼”の文字が書かれた墨書土器は、塚の越遺跡(埼玉県坂戸市)の第2号堀建柱建物跡(8世紀後半～9世紀初頭)から発見されたもののほか、関川谷内B遺跡(新潟県妙高高原町)の2号住居跡(9世紀後半～10世紀初頭)から発見されています。前例は、出土した地点が建物の東北方面に位置する柱を建てるための穴から発見されたことと周囲に散在する建物の状況などを陰陽説とからめて推測し、地鎮等の祭祀に使用された供献具とし、後例については、報告されていませんが、発見された住居跡が鍛冶工房跡であることから推察して、不浄を祓うとされる火を扱うことから、竈部分、しいては工房全体の清浄化をはかるために祀られた“荒神”への専用供献具としての使用形態が考えられます。

荒神は、江戸時代になると一般に「かまど」の神として信仰されるようになり、鍛冶組織の中では三宝荒神とともに鍛冶に携わる鬼の絵などが描かれた軸ものが祀られるようになります。

### 4 祭祀

広島県三良坂町ではダム建設によって水没するお宮の解体中に向拝部分の石段の下から埋められた状態で蓋の付いた壺が発見されました。この壺には寛永通宝1枚のほか2枚の古銭が納められ、蓋の裏側に“鬼”字を正方形の枠で囲った墨書があったとされます。このお宮は、山麓のムラ境に位置し、村民の守り神として信仰を集めており、神像の他に道祖神も祀られていたとのことから推察して、悪霊や邪神がムラの外からムラ内に入るのを防ぐという精神概念から生まれ設置されたもの

のと考えられます。これに類似するものとして、「道切り」や「八丁注連」といってムラの出入口に笹竹を立てて注連縄を張ったり、大ワラジや人形・辻切りの大蛇を祀ったりする風俗も同様の精神構造から派生したものです。また描かれた“鬼”は、このお宮に害を及ぼすような外敵から擁護する役目になったものと考えられますが、その土地に住み着く悪霊や邪神の浄化を目的とした地鎮の祭りの際に埋められたものともみられます。

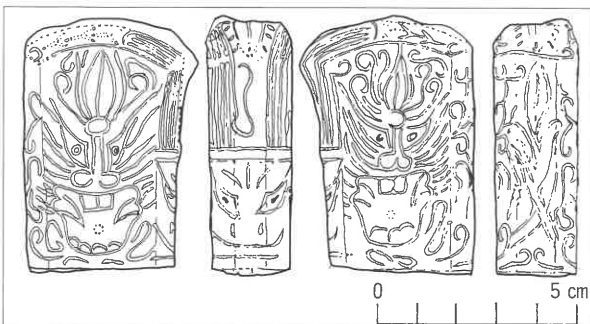
### 《おわりに》

これまで掘り出された鬼たちと題し、民俗と埋蔵文化財から四つの事例を紹介してきました。

いずれの“鬼”も古代から近世の人々によって製作され祀られたもので、その時代に生きた人々の“鬼”に対する精神信仰の姿が読み取れます。古代以来、人々は姿が見えず強大な力を持つ恐ろしく怖いものに対してそれと同等もしくはそれ以上の力を持つもの、すなわち“鬼”という精神上的創造物を登場させ祀ることによって、害を及ぼす魔物や邪悪なものから擁護するという精神信仰を自然発生的に確立していったものと考えられます。その対象物が個人であったりムラ全体を対象としたものであったり、建造物、また守護として祀られる神へ捧げる特殊供献具に表現されたものであったりします。

このようにいろいろな事例を通して鬼をみると日本の“鬼”は、一つの身体に二つの顔を持つことが理解できます。一つは、悪のかぎりをつくす悪鬼の心であり、二つは擁護する側の守護的な面をもつ善の心の鬼である。これらは一重に個々の人間が心の中に内在する善悪二面の精神構造が“鬼”に反映されたものと考えられます。

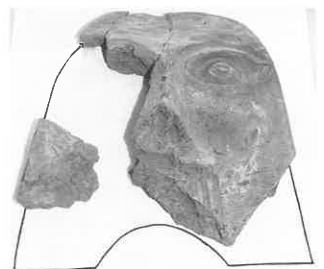
(すずき あきよし 鬼の館主任学芸員)



鉄地金銀象嵌獣面文円頭大刀柄頭



関川谷内B遺跡2号住居土より出土した鬼の文字の書かれた土器



国見山廃寺跡出土鬼瓦

## 鬼の里だより

- |                              |                                   |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 10/10 第10回企画展「冥界」(～11/23)    | 29 鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞                  |
| 18 記念公演「死と再生の文化」<br>講師 山折哲雄氏 | 12/13 鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞               |
| 24 鬼っこわんぱく講座 (～25)           | 20 鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞                  |
| 25 芸能公演 口内鬼剣舞                | 1/17 鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞                |
| 27 鬼学講座 移動研修 青森 (～28)        | 24 鬼っこわんぱく講座 鬼剣舞                  |
| 31 第5回全国鬼サミット (～11/1)        | 2/ 6 第9回につぼん鬼ッズフェスティバル<br>開会セレモニー |
| 11/15 鬼学講座 閉講式               | 3/20 収蔵資料展 (～5/5)                 |
| 22 芸能公演 相去鬼剣舞                | 21 芸能公演 谷地鬼剣舞                     |
| 24～28 館内燻蒸                   |                                   |

## 入館状況

H10. 4. 1～H11. 3. 31 開館日数291日 単位：人

	小中学生	高校生	一般	計
有料	2,866	264	24,700	27,830
無料	1,022	4	4,925	5,951
計	3,888	268	29,625	33,781

## 利用案内

**開館時間** 午前9時から午後5時まで。  
なお、入館は午後4時30分まで。

- 休館日**
- ・月曜日(国民の祝日の場合は開館)
  - ・国民の祝日の翌日(土・日・月曜日の場合は開館)
  - ・上記開館の振替日
  - ・12月28日～1月4日まで
  - ・館内整理日(11月27日～30日)

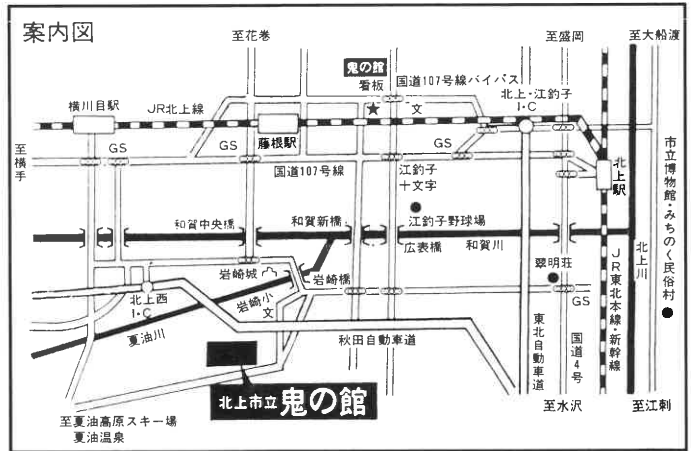
**入館料**

一般	300円(250円)
高校生	200円(150円)
小中学生	150円(100円)

( )内は20人以上の団体料金。

市内の学校の児童生徒が学習活動で申請により利用するとき、毎月第2・4土曜日に利用するときに入館料が免除になります。

- 交通案内**
- ・JR北上駅西口よりバスで25分。煤孫経由横川目行、瀬美温泉行「岩崎橋」下車徒歩10分。夏油温泉行(季節営業-5月～10月)「鬼の館前」下車。
  - ・JR北上駅より車で20分。東北自動車道北上江釣子I・C、秋田自動車道北上西I・Cからともに車で15分。



## 北上市立鬼の館だより

第10号 1999.3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地  
TEL 0197 (73) 8488 FAX 0197 (73) 8508